

2019 年度 第74 回国民体育大会卓球競技京都府予選会(成年・少年の部)

1. 期 日 6月15日(土) 午前9時～

①少年男子の部 ②少年女子の部 ③成年男子の部 ④成年女子の部

2. 会 場 伏見港公園体育館

3. 試合方法 (1) 競技規則は、現行の日本卓球ルールを適用する。(11ポイント5ゲームスマッチ)

(2) 使用球は、(公財)日本卓球協会公認プラスチック球 40mm ホワイトのみとする。

4. 都道府県代表選手の選考について

都道府県大会等に参加し、これを通過したものであること。但し、事情により都道府県大会を実施できない場合あるいは都道府県大会に参加できない場合には、下記(ア)、(イ)の選考方法が認められる。なお、やむを得ない事情により都道府県大会を実施・参加できない場合は、事前にその事情について、(公財)日本卓球協会と協議し了承を得ておくこと。(ここで、都道府県大会等とは国体予選会、都道府県選手権、その他予め指定した競技会、都道府県内ランキングなどを指す)また、選手が都道府県大会等に参加できない場合とは具体的にどのようなことを指すのか(公財)日本卓球協会の上で周知することとする。(ここで、「参加」できない場合とは、具体的に全国大会出場、日本リーグ出場、学生リーグ出場、海外遠征、ナショナルチーム強化合宿などをいう)

(ア)選考基準を事前に周知徹底しておくことを条件に、どの選手をどのような手順で代表とするかについて、代表選手選考方法は都道府県に任される。

(イ)ブロック大会を実施する種別で当該都道府県がブロック大会を勝ち抜いた場合、ブロック大会に実際に参加した者に替えて、本大会には他の者を参加させることができるが、この場合その者が当該都道府県大会の同一種目に「参加」していることを条件とする。なお、ここでいう「参加」には「当該都道府県が予め(公財)日本卓球協会に了承を得た選手選考方法により選出した者」の意味を含むものとする。

(ウ)トップアスリートの特例措置を別途定める。

※第74回国民体育大会予選会免除対象大会

- ・第30回ユニバーシアード競技大会卓球競技
- ・2019 世界卓球選手権大会
- ・2019 アジアジュニア卓球選手権大会

5. 参加資格、所属都道府県及び選手の年齢基準

監督及び選手の参加資格、所属都道府県及び選手の年齢基準は、下記のとおりとする。

①参加資格

(ア)日本国籍を有する者であることとするが、監督及び選手のうち次の者については、日本国籍を有しない者であっても成年又は少年の種別に参加することができる。

(1) 出入国管理及び難民認定法に定める在留資格のうち永住者。

(2) 学校教育法第1条に規定する学校に在籍する学生及び生徒。ただし、出入国管理及び難民認定法に定める在留資格のうち、就学生(主に高校生)及び家族滞在(中学3年生)については、大会実施要項が定める参加申込締切時に一年以上在籍していること。また、留学生(主に大学生)については参加できない。

(3) 参加証とする当該年以前に前号(2)の規定に該当していた者。

(イ)各競技の選手及び監督は、所属都道府県の当該競技団体会長と体育協会会長が代表として認め、選抜した者であること。

(ウ)第72回大会または第73回大会(都道府県大会及びブロック大会を含む)において選手及び監督の資格で参加した者は、次の場合を除き第72回大会または第73回大会と異なる都道府県から参加することはできない。

(1) 平成30年度に学校教育法第1条に規定する学校を卒業した者。

(2) 結婚及び離婚に係る者。

(3) ふるさと選手制度を活用する者(成年種別)「国民体育大会ふるさと選手制度」による。

(4) 一家転住に係る者(少年種別)「一家転住等」に伴う特例措置の考え方による。

(5) JOC エリートアカデミーに在籍する者(少年種別)。

(エ)選手及び監督の兼任は、同一種別内に限る。

(オ)前記のほか、選手については次のとおりとする。

- (1) 参加選手は登記大会及び本大会にそれぞれ1競技に限り参加できる。
- (2) 回数を同じくする大会において、異なる都道府県から参加することできない。
- (3) 健康診断を受け、健康であることを証明された者であること。
- (4) ドーピング・コントロール検査対象に認定された場合は検査を受けなければならない。

(カ)監督は以下のいずれかの有資格者とする。また同時に公認審判員以上の審判員資格を有していること。

- (1) 日本スポーツ協会及び日本卓球協会認定・公認卓球コーチ 4 の資格を有する者。
- (2) 日本スポーツ協会及び日本卓球協会認定・公認卓球コーチ 3 の資格を有する者。
- (3) 日本スポーツ協会及び日本卓球協会認定・公認卓球コーチ 2 の資格を有する者。

②所属都道府県

所属都道府県は、当該競技団体が限定する場合を除き、次のいずれかが属する都道府県から出場できる。

(成年種別)

(ア) 居住地を示す現住所(現住所とは住民登録がなされ、日常生活をしている所を指す)

(イ) 勤務地

(ウ) ふるさと(国民体育大会ふるさと選手制度による)

※ 大学生の場合にあっては、居住地を示す現住所またはふるさとのいずれかを選ぶことができる。ただし、ふるさとの場合、「国民体育大会ふるさと選手制度」による。

(少年種別)

(ア) 居住地を示す現住所(現住所とは住民登録がなされ、日常生活をしている所を指す)

(イ) 学校教育法第1条に規定する学校の所在地

(ウ) 勤務地

(エ) JOC エリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例に定める小学校の所在地

※ 上記に属する都道府県のうち、居住地を示す現住所、勤務地、学校教育法第1条に規定する学校の所在地のいずれかから参加する場合は、2019年4月30日以前から本大会参加時まで、引き続き当該地にそれぞれ居住、または通学していなければならない。

③選手の年齢基準

(ア)成年種別に参加する者は、2001年4月1日以前に生まれた者とする。

(イ)少年種別に参加する者は、2001年4月2日から2005年4月1日までの間に生まれた者とする。

(中学3年生を含む)

④前記の各事項に疑義のあるときは、(公財)日本スポーツ協会及び当該競技団体が調査・審議の上、(公財)日本卓球協会がその可否を決定する。

6. 参加料 高校生(含中学3年生) 600円、 大学生 1,000円、 一般 1,200円

7. 代表選考 予選会第1位は代表選手とし、各種別とも他の2名は京都卓球協会理事会にて決定する。

8. 近畿大会 近畿ブロック大会は8月24日(土)～25日(日) 奈良県にて開催。

本大会 本大会の代表については、成年男子2チーム、少年男子4チーム、少年女子2チームが近畿ブロック大会より参加できる。また、成年女子は近畿ブロック大会を経ずに本大会へ出場できる。

本大会は9月28日(土)～10月2日(水) 茨城県 日立市池の川さくらアリーナにおいて開催される。

9. 申込締切 6月5日(水) 必着

※ ふるさと選手制度にて予選会参加希望の方は、所定の申請書に必要事項を記入の上、原本は参加申込書、参加料振込票コピーとともに京都卓球協会事務局(〒601-8047 京都市南区東九条下殿田町70 京都府スポーツセンター内)へ、またコピーは東山高等学校 宮木操先生(〒606-8445 京都市左京区永観堂町51)へ郵送してください。

尚、不明な点は宮木先生(TEL 075-771-9121)まで連絡ください。

※ 登録地が京都以外の府県で、2019年10月19日、20日開催の全日本選手権(一般の部)京都府予選会に出場しようとする大学生は、2019年度国体京都府予選会に出場したことを必須とする。